学校長式辞

82名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。また、卒業生の保護者の皆様、お子さまのご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

本来ならば、在校生や来賓の方々にもご参列いただき、皆さんの栄える門出をお祝いする卒業式であるはずが、昨年に続き今年もこのような形での挙行となり、現状では仕方ないとはいえ、残念であり申し訳ない気持ちです。

去年の令和2年3月2日。この日を境に私たちの生活は「変りました。マスク着用」、「密を避ける」また「まめに消毒する」など、新しい生活様式が求められ、窮屈な中で耐えています。それでもまだ収束する兆しを見出すことができない状態が続いています。

学校では、全国一斉の臨時休校が実施され、当初春休みまでの予定が、6月まで延長されるという、今まで経験したことがない状況で、みなさんの中学生活最後の1年がスタートしました。学校が再開し、登校してきたみなさんの不安げな表情を忘れることができません。

先日も卒業式の歌の練習にお邪魔したとき、卒業生の歌、「正解」を練習しているのを聞いて、学校でみんなと過ごすことは、勉強をするだけでなく、泣いたり、笑ったり、また時には傷ついたり、そして喜んだりを繰り返し、成長していく場所であり、時間なんだと実感し、みなさんからそんな大切な時間を3か月も奪った新型コロナウィルスが憎いと心から思いました。

しかし、そんな私の思いとは裏腹に、学校が再開後、いろいろな制約を受けながらも、日々の学校生活をみんなと一緒に営むことで、個人としてまた学年集団として目を見張るほどの成長をしてくれました。体育祭や修学旅行でのみなさんの弾ける笑顔に私の方が元気をもらい、とりわけ、体育祭の応援合戦のキシキシのダンスには心をわしづかみされてしまいました。

そして今日。晴れやかにそして堂々と卒業証書を受け取るみなさん一人一人の表情に、心の強さと充実感が見て取れ、胸が熱くなりました。

「コロナ禍で「変りました生活で、あたりまえ」という言葉をよく耳にするようになってきました。

あたりまえ」を辞書で引くと、普通のこと。ありふれていること」とあります。そして、あたりまえ」の反対語のひとつに「ありがとう」があ

ります。 「ありがとう」は漢字で「有難う」と書きます。有ることが難しいこと、滅多にない貴重なことが語源になっています。

これまで 学校で授業や部活動があるのはあたりまえ、友達とおしゃべりしたり、遊びに行くのはあたりまえ」と思っていたことが、どんなに貴重で幸せなことだったか。そして自分にとっての「あたりまえ」は、周りのいろんな人たちに支えられての「あたりまえ」なんだと。今回の「コロナ禍」あたりまえに「ありがとう」と気づかせてもらえました。

みなさんも、あたりまえにありがとうと感じ取っていたから、学校再開後に大きく成長できたのだと思います。

またみなさんの中に、3年間無遅刻・無欠席で隅田中学校に通い続けた人が4人います。体調が悪い時、学校を休むことは間違いではないし、病気で学校に行きたくてもいけなくて、悲しい思いをしている人がいることも知っています。

ですが、3年間無遅刻・無欠席を続けることは、容易いことではありません。また、決して本人だけの力でできることではなく、ご家族のご支援があつての素晴らしいことだと思います。体調管理につとめて、これからも無理せず続けてほしいと願います。

また、最愛のお母さんを亡くした人もいます。大きな悲しみに耐えながら頑張つて学校に通いました。みなさんの優しさに包まれ、励まされながら乗り越えようとしています。きっと人の痛みがわかる心優しい人に成長してくれると思います。

「コロナ禍収束の目途が立たず、先行きが見えないこの時期に、みなさんは未来へ向かって新たな一歩を踏み出していきます。人は力や気合を入れたときには、いびしきキックを握ります。夢と希望をしっかりとその手に握りしめ、いろんな「あたりまえ」に感謝する気持ちを忘れずに進んでほしいと願います。分かれ道にさしかかったときは、困難で苦しいであろう道を選択してください。

そして、あなたのこれからの人生という制限時間の中で、たくさん間違えながら、あなたの正解「じたいの着くよう歩んでください」。

保護者のみなさま、お子さまのご卒業おめでとう申し上げます。

この三年間、様々な心配やご苦勞があったことと思います。それゆえに、たくましく成長された姿を目のあたりにして、喜びもひとしおのことと思います。特にこの二年は、ご自身はもちろんのこと、ご家族を守ってこられたご苦勞に対しまして、敬意を表しますとともに、これまで、本校に対して

支援ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

卒業生のみなさんの今後の益々の活躍と、ここにお集まりのみなさんのご健康とご多幸をお祈りして、みなさんとともに隅田中学校で過ごしたすべての教職員を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。

そんな時代もあったねと、いつか話せる日が来るわ

あんな時代もあったねと、きっと笑って話せるわ

中島みるき 時代)

いつかみんなで、この時代のことを笑って話せる日が来るのを楽しみにしています。

卒業おめでとう。また会いましょう！